

将来推計とパブリックコメントについて

1 将来推計について

(1) 地域包括ケア「見える化」システムについて

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業計画の策定・実行を総合的に支援するための情報システム。介護サービス見込み量等の将来推計支援などがインターネットを通じて可能となっている。

(2) 将来推計に用いる推計人口について

平成27年度～平成29年度（実数）住民基本台帳人口

平成30年度～平成37年度（推計）厚労省が国勢調査を基に推計した人口
いずれも10月1日時点（平成29年度のみ8月1日現在）

(3) 将来推計の前提について

将来推計機能に手を加えない自然体推計による。

(4) 将来推計の結果について

今回、お示しする将来推計によるサービス量の見込み（別紙）については現時点での見込みであり、次の理由によりその値は今後変動するため、あくまで目安として提示するもの。最終的には平成30年1月頃に確定する見込み。

① 推計人口

平成29年度人口は現在8月1日の値であるが、10月1日に変更予定。

② 実績値

平成29年度の実績値が6月分までしかシステムに反映されていない。今後、9月分（6か月）までの実績値を反映する予定。

③ 地域密着型介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護の整備については

次の介護医療院への転換等と合わせて検討する必要があるため整備方針が未定。

④ 療養病床からの介護医療院への転換等が未定。今後、県との協議により反映。

⑤ 制度改正の詳細及び介護報酬改定が未定。公表され次第、反映予定。

2 パブリックコメントについて

(1) スケジュール

11月下旬 12月議会で素案・パブリックコメント実施報告

12月中旬 パブリックコメント実施

1月下旬 第3回策定介護及び策定委員会・パブリックコメント結果報告

(2) パブリックコメント提出項目について

今回お示した、計画素案を基にデータ等を時点修正し、パブリックコメントとして提出する。

ただし、サービス量の見込み、保険料、事業所の整備に関する部分については、今後、変動するため、パブリックコメント項目から除外する。